



# 令和元年度の実績に係る キャンパス経営力評価ヒアリング

## 小白川キャンパス

小白川キャンパス長 清塚邦彦

# 1. 外部資金源の多様化

## 年度目標1

- ① 小白川キャンパス・**エクステンションサービス機構**(YEX、仮称)を設けて、地域サービスに関わるキャンパス内の組織・機能を集約化する。
- ② 競争的外部資金への応募に向けた取組を**5件以上**、外部資金の多様化に向けた取組を**3件以上**、支援する。

## 達成状況

- ① エクステンションサービス機構の整備 →R2概算予算を獲得。
- ② **大型科研費**への新規申請への補助を**7件**、**科研費以外の競争的資金**への申請経費の支援を**28件**行った。

### 【エクステンションサービス機構 R1年度の関連事業】

- ・ホームページの準備
- ・研究分野の外部サービスとして、キャンパス内の分析装置を有償で外部に提供する**小白川キャンパス機器分析センター**を整備。
- ・分析センターの機器を活用した**ネーミングライツ**の公募 →「日本電子やまがた産学連携構造解析センター」(年50万円×3年契約)
- ・退職教員による**社会人向け有償教育プログラム**を5件用意(R2年度実施)。

# 年度目標1 参考 エクステンションサービス機構の概要

## 地域社会のニーズ

経営について  
学びたい

起業ために  
勉強したい

語学力を  
身に付けたい

食の知識を  
深めたい

大学講義を  
受講したい

研修の内容を  
考えなくては  
いけない

大学の教育コンテンツや  
企業等のニーズに合わせ  
たオーダーメイドプログ  
ラムなど地域社会のニ  
ーズに応えるリカレント教  
育を提供する

相談

## エクステンションサービス機構

- ・教員のコーディネート
- ・教育プログラムの検討
- ・窓口の一元化



→プログラムの提供  
→講師の派遣  
→教材の開発

### ▼ニーズに対するコンテンツの例

#### 【官公庁・企業等】

- ・経営知識や教養の獲得
- ・社員研修、マネジメント研修
- ・起業スキル研修
- ・政治、経済、国際などの専門知識
- ・若年退職(プロスポーツ等)の学び直し
- ・育児、介護離職の再活動支援 など

ニーズに合わせた  
オーダーメイド  
プログラム



#### 【社会人キャリア教育】

- ・きらやかマネジメントスクール
- ・Big Data講習
- ・社会人キャリアアップ講習
- ・キャリアシフト講習
- ・プロスポーツキャリア講習
- ・再活動支援講習 など

#### 【地域住民等】

- ・新たな知識や考え方の習得
- ・生きがいのある人生
- ・高校生への大学講義体験
- ・教養を深める
- ・知的好奇心の提供
- ・語学力
- ・外国人材や留学生の地域社会順応

ニーズに合わせた  
大学教育・研究  
コンテンツの提供



#### 【ダイバーシティ教育(生涯教育)】

- ・公開講座
- ・男女共同参画セミナー
- ・トワイライト講座
- ・ナス力講演会
- ・星空案内人育成講座
- ・生きがい学習プログラム
- ・日本文化・日本語学習プログラム など

#### 【官公庁・企業・銀行・商工会等】

- ・学びのセーフティネット構築
- ・山形県男女共同参画センターとの連携
- ・地域産業の研究者との連携
- ・分析業務

地域社会の将来を  
見据えたリカ  
ン  
ト  
教育の開発



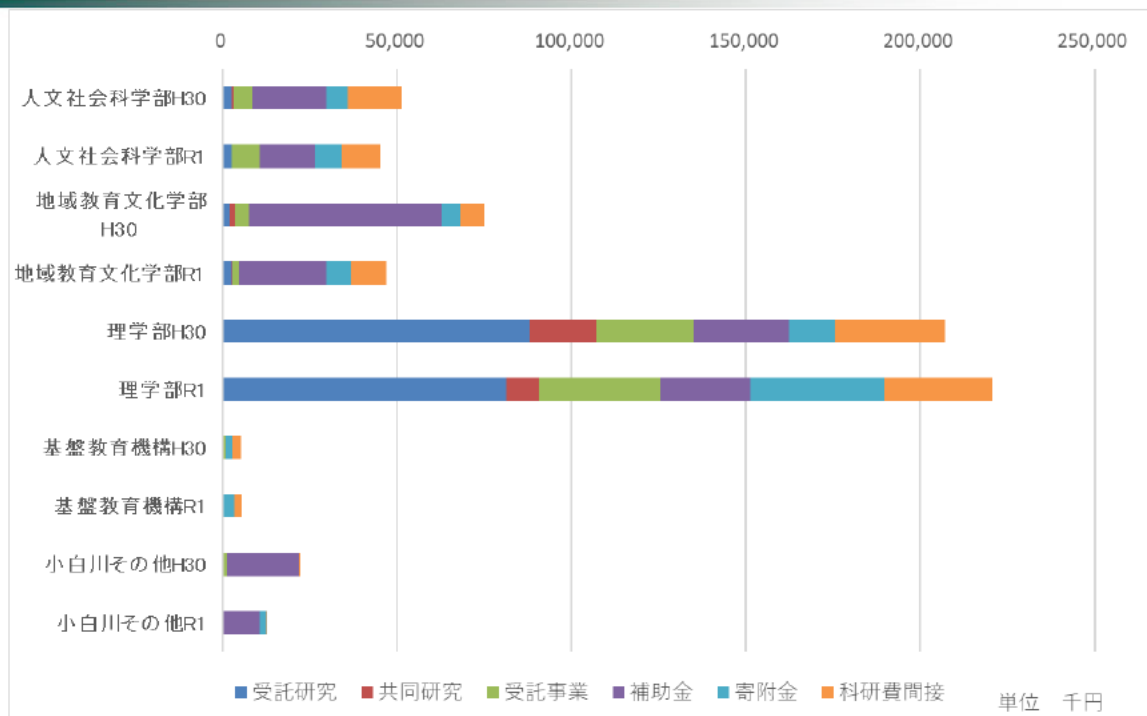
#### 【連携事業】

- ・教育手法・スキルの開発
- ・女性の学び直し支援
- ・産業界の研究者サポート
- ・小白川分析センター

# 年度目標1 参考データ

## 【外部資金の状況】

- ・科研費以外は分野による違いが大きい
- ・人文社会科学部は**科研費採択率**が高く、理学部は**採択金額**が大きい
- ・大型科研費は基盤Aが1件、基盤Bが5件、新規採択
- ・人文、地教は**補助金の最終年度**による**減少**に対して、受託研究・受託事業が伸び悩み(減額率(H30→R1) DTP40%→50% , COC+1/3→2/3)



## 【多様な外部資金の導入に向けた取組】

- ・附属博物館にて**クラウドファンディング**を実施。  
目標額160万を大幅に上回る269万円余の事業資金を確保。
- ・教員免許更新講習: 延べ2215講座、13,290,000円。
- ・AMSセンターにおける測定74件、18,662,500円(受託研究)。
- ・社会人を対象とした**データサイエンス講習**:  
データサイエンス・カフェ(通算19回)、データサイエンス・スタディセッション(通算13回)。  
これらと関連して、「ベネッセ」からの業務委託(7万5000円)、株式会社アキレスとの共同研究(30万円)など。
- ・八峰祭の機会を利用して、山形大学卒業生による企業説明会(有償)を実施(奨学寄附金36件)。



## 2. キャンパス経営体制の強化

### 年度目標2

- ①事務部・部局の業務改善に関する新たな取組を5件以上実施する。
- ②キャンパスのリソースマネジメント一体化の取組(3件実施)。
- ③第4期を見据えて持続可能なカリキュラム構想を策定。

### 達成状況2

- ① i)インフォメーションセンターへの業務集約、ii)学部広報物の一括発注、iii)一部広報物のHP掲載による業務簡素化、iv)9月卒業式を3学部合同で実施、等に加え、v) **管理的経費のキャンパス一体化による業務の簡素化**。
- ② i)キャンパス内の共有スペースを一元管理化、ii)小白川キャンパス機器分析センターを整備。
- ③ 小白川の各部局において**持続可能なカリキュラム構想**を策定。

#### カリキュラム検討状況

- ・第4期法人期間を見越し、教員数が現在の7割に縮小した場合でもなお維持可能なカリキュラムについて、各部局において検討を行い、その結果を1月の懇談会にて報告しキャンパス内での共有を図った。
- ・3学部の教育担当副学部長で構成するWGにより、授業の学部間連携を推進。教職科目の共有・分担の在り方を中心に協議し、**共同開講科目**等を決定。

### 3. 教育・研究の強化

#### 年度目標3

- ① 学生組織と連携した「**明るく楽しいキャンパスづくり**」事業を3件以上実施し、情報伝達度や満足度などのアウトカム評価を行う。
- ② 特に評価が高い**国際学術誌**への投稿を支援する取組を10件以上実施する。

#### 達成状況3

- ① エリアキャンパスもがみの受講生を中心とした学生組織により、学生の学びをPRし、地元イベントの認知度向上等を目標とした**パネル展示**を実施。**ただし、コロナウイルス感染への対応のため、年度末に計画されていたアウトカム評価の実施は見送りとなった。**
- ② 投稿前の英文校閲料の支援を**6件**、Scientific Reportsなどへの受理後の掲載料(APC)の半額支援を**3件**。文系については研究成果の著書出版助成を**3件**実施。



## 4. 入学志願者増加対策

---

### 年度目標4

- ① キャンパスと学部の広報効果を検証し、**広報業務の一元化と効率化**を進める。
- ② **留学生対象オープンキャンパス**を実施する。
- ③ **高大連携**機能を強化し、高校側の実態やニーズの把握を行い、大学での学びの魅力を伝える取組を行う。

### 達成状況4

- ① **広報担当事務の一元化**により、担当人員が各学部2-3人から全体で2人へと簡素化された。また、出張講義等の情報が部局間で共有され、より効果的な派遣が可能になった。さらに、HPへの掲載内容について部局間での情報共有がなされた結果として、更新回数が合理化された。(H30年度159回→R1年度93回。)

広報のための教員派遣人数は、進学説明会7人、模擬講義27人、出張講義71人。

- ② 留学生OCの代替として、EM部が実施した**東京での留学生説明会**に教員を派遣。
- ③ 県内高等学校3校との教育連携協定に基づき、**探究学習**について教員を派遣し、学習相談員、発表指導員、審査員、運営委員等として協力。

教育連携協定に基づく教員派遣は38件(内訳は人社:6件、地教:15件、理:12件、基盤:3件、理事:2件)。

# 年度目標4 参考データ

## 【私費外国人留学生数の増加】

|             | H31 |     |     |     |                                                                                     | R2  |     |     |     |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|
|             | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |                                                                                     | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
| 人文社会科学部     | 37  | 34  | 10  | 10  |  | 41  | 35  | 13  | 11  |
| 地域教育文化学部    | 3   | 3   | 2   | 2   |                                                                                     | 5   | 5   | 1   | 1   |
| 理学部         | 20  | 20  | 5   | 2   |                                                                                     | 22  | 22  | 10  | 5   |
|             |     |     |     |     |                                                                                     |     |     |     |     |
| 社会文化システム研究科 | 10  | 10  | 8   | 6   |                                                                                     | 15  | 15  | 12  | 12  |
| 地域教育文化研究科   | 0   | 0   | 0   | 0   |                                                                                     | 2   | 2   | 1   | 1   |
| 理工学研究科(理)   | 1   | 0   | 0   | 0   |                                                                                     | 0   | 0   | 0   | 0   |
|             |     |     |     |     |                                                                                     |     |     |     |     |
| 総計          | 71  | 67  | 25  | 20  |                                                                                     | 85  | 79  | 37  | 30  |

東京での留学生説明会に加えて、人文社会科学部では、東京とモンゴルに試験会場を設置。

私費外国人留学生試験による入学者は小白川キャンパス全体で20人(R1年度)から30人(R2年度)に増加した。